

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会第 6 回総会

日 時：令和 5 年 1 月 18 日（水）13：30～14：30

場 所：岡山プラザホテル 5 階延養の間

次 第

1 挨拶

2 報 告

- (1) 第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画の決定について 【資料 1】
- (2) 第 74 回全国植樹祭カウントダウンボードのデザインについて 【資料 2】
- (3) 第 74 回全国植樹祭記念事業（1 年前イベント）について 【資料 3】
- (4) 令和 4 年度 of 取組状況及び収支決算見込みについて 【資料 4】

3 議 事

- 【第 1 号議案】第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部
改正について 【資料 5】
- 【第 2 号議案】基本計画（案）について 【資料 6－1】
【資料 6－2】

4 その他

- 今後の予定について 【資料 7】

<配付資料>

- 【資料 1】第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画の決定について
- 【資料 2】第 74 回全国植樹祭カウントダウンボードのデザインについて
- 【資料 3】第 74 回全国植樹祭記念事業（1 年前イベント）について
- 【資料 4】令和 4 年度 of 取組状況及び収支決算見込みについて
- 【資料 5】【第 1 号議案】第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正につ
いて
- 【資料 6－1】【第 2 号議案】基本計画（概要版）（案）
- 【資料 6－2】基本計画（詳細版）（案）
- 【資料 7】第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会） of 今後の予定

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

※ 総会終了後、大会ポスター原画 of 表彰式を予定しておりますので、引き続き、自席にてご参加ください

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第6回総会 出席者名簿

日 時：令和5年1月18日（水）13：30～14：30

場 所：岡山プラザホテル5階「延養の間」（敬称略）

番号	職名	機 関 ・ 団 体	役 職	氏 名	出欠	代理出席者
1	会長	岡山県	知事	伊原木 隆太	出	
2	副会長	岡山市	市長	大森 雅夫	出	都市整備局 都市・公園担当 局長 林 良太郎
3	副会長	公益社団法人岡山県緑化推進協会	会長	小野 泰弘	出	
4	副会長	岡山県	副知事	横田 有次	出	
5	顧問	岡山県議会	議長	加藤 浩久	出	
6	委員	岡山県議会環境文化保健福祉委員会	委員長	市村 仁	出	
7	委員	岡山県議会農林水産委員会	委員長	福島 恭子	出	
8	委員	林野庁近畿中国森林管理局岡山森林管理署	署長	岩田 幸治	出	
9	委員	環境省中国四国地方環境事務所	所長	上田 健二	出	
10	委員	岡山県市長会	会長	伊東 香織	出	事務局長 光藤 伸史
11	委員	岡山県町村会	会長	山崎 親男	出	事務局長 亀森 敏宏
12	委員	中国学園大学・中国短期大学	学長	千葉 喬三	出	
13	委員	岡山県立大学	理事長兼学長	沖 陽子	出	
14	委員	岡山県森林組合連合会	代表理事会長	小野 泰弘	出	代表理事専務 池田 稔
15	委員	一般社団法人岡山県木材組合連合会	会長	田中 信行	出	
16	委員	岡山県山林種苗協同組合	理事長	難波 芳英	出	
17	委員	公益社団法人おかやまの森整備公社	理事長	小谷 敦	出	専務理事 岡本 安順
18	委員	岡山県林業研究グループ連絡協議会	会長	三木 敬臣	出	
19	委員	岡山県農業協同組合中央会	代表理事会長	青江 伯夫	欠	
20	委員	一般社団法人岡山県商工会議所連合会	会長	松田 久	出	
21	委員	岡山県商工会連合会	会長	田村 正敏	出	
22	委員	岡山県中小企業団体中央会	会長	晝田 真三	出	専務理事 脇本 靖
23	委員	公益社団法人岡山県観光連盟	会長	石井 清裕	出	専務理事 野崎 正志
24	委員	岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	永山 久徳	出	事務局長 永井 昭男
25	委員	西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社	理事岡山支社長	藤原 乗将	出	中国統括本部経営企画部 総務岡山 担当課長 太田 達也
26	委員	公益社団法人岡山県バス協会	会長	小嶋 光信	出	事務局長 田坂 有樹子
27	委員	一般社団法人岡山県婦人協議会	会長	大西 泰子	欠	
28	委員	社会福祉法人岡山県社会福祉協議会	会長	足羽 憲治	欠	
29	委員	岡山県小学校長会	会長	竹本 俊哉	出	副会長 壬生 実千代
30	委員	岡山県中学校長会	会長	小橋 宣彦	出	
31	委員	岡山県高等学校長協会	会長	武内 洋二	出	
32	委員	岡山県私学協会	会長	金光 道晴	出	
33	委員	岡山県特別支援学校長会	会長	山岡 格史	出	
34	委員	公益財団法人岡山県環境保全事業団	理事長	坂井 俊英	出	専務理事 吉田 光宏
35	委員	公益社団法人岡山県文化連盟	会長	若林 昭吾	出	
36	委員	公益財団法人岡山県郷土文化財団	理事長	石井 清裕	出	常務理事 信江 幸雄
37	委員	環境文化部	部長	佐藤 将男	出	
38	委員	産業労働部	部長	三浦 智美	出	
39	委員	農林水産部	部長	万代 洋士	出	
40	委員	教育委員会	教育長	鍵本 芳明	出	教育次長 浮田 信太郎
41	委員	警察本部	本部長	檜垣 重臣	出	
42	参与	株式会社山陽新聞社	代表取締役社長	松田 正己	出	社長室長 江見 肇
43	参与	株式会社朝日新聞社岡山総局	総局長	浅見 和生	出	
44	参与	株式会社毎日新聞社岡山支局	支局長	相原 洋	出	
45	参与	株式会社読売新聞社岡山支局	支局長	春名 健吾	出	
46	参与	株式会社産業経済新聞社岡山支局	支局長	和田 基宏	欠	
47	参与	株式会社中国新聞社岡山支局	支局長	中島 大	欠	
48	参与	株式会社日本経済新聞社岡山支局	支局長	深野 尚孝	出	
49	参与	株式会社日刊工業新聞社岡山支局	支局長	清水 信彦	欠	
50	参与	一般社団法人共同通信社岡山支局	支局長	島田 哲也	欠	
51	参与	株式会社時事通信社岡山支局	支局長	堀川 弘文	出	
52	参与	日本放送協会岡山放送局	局長	田中 意澄	出	
53	参与	R S K 山陽放送株式会社	代表取締役社長	里見 俊樹	出	RSKホールディング（株）経営管 理局長 大井 博幸
54	参与	岡山放送株式会社	代表取締役社長	中静 敬一郎	出	取締役 奥原 寛樹
55	参与	西日本放送株式会社岡山本社	岡山本社中国総支社長	中川 弘之	欠	
56	参与	株式会社瀬戸内海放送岡山本社	取締役執行役員岡山本社代表	三木 栄	出	
57	参与	テレビせとうち株式会社	代表取締役社長	土井 雅人	出	
58	参与	岡山エフエム放送株式会社	代表取締役社長	塩飽 哲文	欠	
59	参与	岡山県ケーブルテレビ振興協議会	会長	石井 正人	出	
60	監事	岡山市	会計管理者	石井 敏郎	出	
61	監事	岡山県	出納局長	森下 慎	出	

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会 第6回総会 配席図

日 時：令和5(2023)年1月18日(水) 13:30~14:30

場 所：岡山プラザホテル5階「延養の間」

出入口

出入口

出入口

受付

出入口

岡山県議会議環境文化
保健福祉委員会委員長

岡山県議会
農林水産委員会委員長

林野庁近畿中国森林
管理局岡山森林管理署長

環境省中国四国地方
環境事務所長

岡山県市長会長

岡山県町村会長

中国学園大学・
中国短期大学長

岡山県立大学
理事長兼学長

岡山県森林組合連合会
代表理事会長

(一社)岡山県
木材組合連合会長

岡山県山林種苗協同
組合理事長

(公社)おかやまの森
整備公社理事長

岡山県林業研究
グループ連絡協議会長

(一社)岡山県
商工会議所連合会長

随
行
者
席

報
道
席

岡山県議会議長

岡山県議会議長

岡山県知事

岡山市長

岡山県副知事

3

5

1

2

4

○

○

○

○

○

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

20

岡山県
商工会連合会長

岡山県中小企業
団体中央会長

(公社)岡山県
観光連盟会長
岡山県旅館ホテル
生活衛生同業組合
理事長

西日本旅客鉄道(株)
中国統括本部岡山支社
理事岡山支社長

(公社)岡山県
バス協会会長

岡山県
小学校長会会長

岡山県
中学校長会会長

岡山県
高等学校長協会会長

岡山県私学協会会長

岡山県
特別支援学校長会長

(公財)岡山県
環境保全事業団理事長

(公社)
岡山県文化連盟会長

(公財)岡山県郷土
文化財団理事長

21

22

23

24

25

26

29

30

31

32

33

34

35

36

(株)山陽新聞社
代表取締役社長

(株)朝日新聞社
岡山総局長

(株)毎日新聞社
岡山支局長

(株)読売新聞社
岡山支局長

(株)日本経済新聞社
岡山支局長

(株)時事通信社
岡山支局長

日本放送協会
岡山放送局長

R S K 山陽放送(株)
代表取締役社長

岡山放送(株)
代表取締役社長

(株)瀬戸内海放送
岡山本社取締役
執行役員岡山本社代表

テレビせとうち(株)
代表取締役社長

岡山県ケーブル
テレビ振興協議会長

37

38

39

40

41

60

61

岡山県
環境文化部長

岡山県
産業労働部長

岡山県
農林水産部長

岡山県
教育委員会
教育長

岡山県
警察本部長

岡山市
会計管理者

岡山県
出納局長

進行

事務局

事務局

傍聴席

傍聴席

【報告】

第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画の決定について

1 募集概要

- ・例年実施している「緑化運動ポスター原画募集」に合わせ、「第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画」を募集
- ・募集期間 令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 9 月 5 日まで
- ・応募状況 6 1 5 点

2 審査概要

(1) 審査経緯

- ①一次審査（緑化運動ポスター原画審査会・令和 4 年 9 月 29 日）

応募作品 615 点から大会ポスター原画候補 12 点を選定

- ②二次審査（第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画審査会・令和 4 年 10 月 3 日）

一次審査で選定した 12 点から大会ポスター原画を決定

審査員（大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会委員）

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部 教授
副委員長	清田 哲男	岡山大学学術研究院教育学域 教授
委 員	杉本 孝一	(公社)岡山県緑化推進協会 事務局長
	藤井 茂樹	新見美術館 館長
	江尻 寛正	岡山県教育委員会 指導主事
	後藤 尚毅	岡山市教育委員会 指導副主査
	万代 洋士	岡山県農林水産部 部長
	佐藤 将男	岡山県環境文化部 部長

(2) 審査結果

最優秀賞受賞作品	作者等
	作者：にしやまここな 西山心和(浅口市立金光小学校5年生) 画題：みんなで育てるハートの木 制作意図：晴れの国と太陽とやさしさでハートの木を大きく育て、みんなが幸せになれるといいなという思いをこめた。 選定理由：人の心から緑や植樹が広がることが表現されている。絵全体が明るく、温かいイメージが感じられる。中心にあるハートに一瞬で目がいく構図はポスターとしてインパクトがある。

3 今後の予定

最優秀賞受賞作品をもとに第74回全国植樹祭大会ポスターを作成し、大会PRに活用



第71回全国植樹祭大会ポスター

【報告】

第 74 回全国植樹祭カウントダウンボードのデザインについて

第74回全国植樹祭では、県産木材を積極的に使用し、開催までの残り日数を刻むカウントダウンボードを制作し、開催機運を盛り上げることとしている。

カウントダウンボードについては、県内工業系高校（18校）を対象にデザイン募集を実施し、応募のあったデザインの中から審査会による選定を経て制作する。

1 デザイン審査会

開催日 12月26日（月）13：15～14：00

審査員 県知事、岡山市副市長、県教育長、県環境文化部長、岡山市都市・公園担当局長

審査方法 最優秀賞 2 デザインを選定

2 応募校（応募デザイン数）

県立高梁城南高等学校（1 デザイン）

県立岡山工業高等学校（5 デザイン）

3 審査結果（最優秀賞受賞作品）



【コンセプト】
岡山が見渡せる
カウントダウン
ボード

県立岡山工業高等学校
グループ名：シャイン
作品名：岡山に大樹を育てよう



【コンセプト】
太陽・桃・植物

県立岡山工業高等学校
グループ名：STEAMラボ
作品名：ヒノキといっしょ
I love おかやまボード

4 今後のスケジュール

- ・R5.4～7 選定された高等学校においてカウントダウンボードを制作
- ・時期未定 開催日の決定を受けて、制作されたカウントダウンボードを県庁県民室、岡山市役所に設置予定
※岡山桃太郎空港、県立図書館等にも巡回設置予定

【報告】

第 74 回全国植樹祭記念事業（１年前イベント）について

第74回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるとともに、緑化意識の醸成等を図るため、式典開催地である岡山市において、周期イベント（１年前）を開催する。

1 主催

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会
公益財団法人岡山市公園協会

2 事業概要

- （１）行事名称 第 74 回全国植樹祭 1 年前記念「百花彩」
- （２）開催日時 令和 5 年 5 月 20 日（土） 9：00～16：00
- （３）開催会場 西大寺緑花公園・百花プラザ
- （４）実施内容 記念式典・植樹
木や花を使った体験イベント
緑化等の啓発・展示コーナー など

3 今後の周期イベント計画

区分	時期	場所	
200 日前	令和 5 年秋頃	勝央町岡	おかやまファーマーズ・マーケットノースヴィレッジ
100 日前	令和 6 年冬頃	備前市日生町日生	「五味の市」周辺広場
アフター	令和 6 年秋頃	新見市大佐小阪部	大佐山大日高原

【参考】



第 73 回全国植樹祭 岩手大会
1 年前記念イベント



木工体験

【報告】

令和４年度を取組状況及び収支決算見込みについて

1 令和４年度取組状況

(１) 会議の開催

① 実行委員会

第５回 令和４年７月２０日（水）

- ・実行委員会会則の一部改正について
- ・令和３年度収支決算（案）について
- ・基本計画（素案）について 等

第６回 令和５年１月１８日（水）開催

② 幹事会

総会の審議事項検討

第４回 令和４年７月５日（火）

第５回 令和４年１２月２６日（月）

③ 専門委員会

◇式典等専門委員会

付託事項 式典行事に係る演出・内容等に関すること

第４回 令和４年１０月１１日（火）

◇森林資源循環利用専門委員会

付託事項 樹種の選定、植樹・木材利用等に関すること

第６回 令和４年６月２０日（月）

◇大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会

付託事項 大会テーマ、シンボルマーク及び大会ポスター原画の募集、
審査・選定に関すること

第５回 令和４年１０月３日（月）

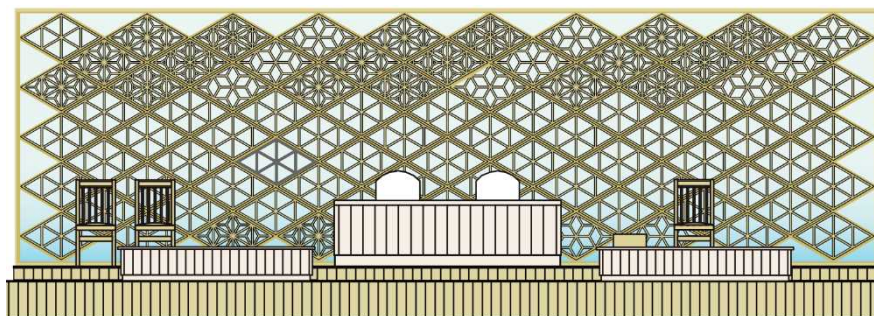
(２) 基本計画の策定等

基本構想を踏まえ、全国植樹祭の開催に係る基本的事項(式典行事計画、植樹行事計画等)を基本計画案として取りまとめ、本日、審議する。今月末には、国土緑化推進機構特別委員会において内容説明を行い、成案とする。

(3) 御座所背面等のデザインの公表

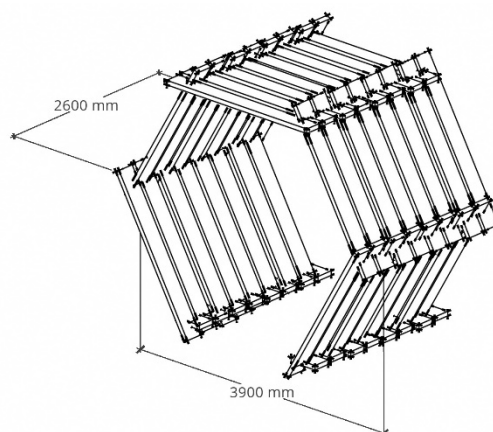
① 御座所背面のデザイン

- ・天皇皇后両陛下が御着席される御座所背面のデザインを決定
- ・県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法の組子でデザイン



② C L Tゲートのデザイン

- ・式典会場に入場する動線上に設置するウェルカムゲートのデザインを決定
- ・丸太生産量が全国でもトップクラスの岡山県産ヒノキで制作したC L Tでデザイン



③ カウントダウンボードのデザイン

- ・開催日までの残りの日数を刻むカウントダウンボードのデザインを決定
- ・県内の工業系高校にデザインを募集し、応募のあった6案から2デザインを選定
- ・選定された高等学校においてカウントダウンボードを制作（令和5年度）



県立岡山工業高等学校
グループ名：シャイン
作品名：岡山に大樹を育てよう



県立岡山工業高等学校
グループ名：STEAMラボ
作品名：ヒノキといっしょ
I love おかやまボード

(4) 開催機運醸成に向けた取組

開催機運の醸成を図る各種取組を実施

① 苗木の育成体験

事業名 苗木のホームステイ・スクールステイ

実施日 令和4年10月3日（月）から12月12日（月）まで

参加団体 県内の学校等 37団体

内容 全国植樹祭の説明・森林教室・育苗指導



② プレ地域植樹の実施

開催日 令和4年10月8日（土）

開催場所 津山市阿波地内（大ヶ山牧場跡地）

参加者数 220名

実施内容 参加者によるヤマザクラ、イロハモミジ等の広葉樹の植樹（1,200本）

地元製材業者等による木工・林業体験

地域の特産品の販売



③ 第74回全国植樹祭大会ポスター原画の募集

県内の児童・生徒を対象に、大会テーマや開催理念等を表現した大会ポスター原画を募集し、最優秀賞1点を選定。



④ 広報啓発資材の作成

県産材を活用した木のしおり等の広報啓発資材を作成



県産ヒノキ製しおり



県産ヒノキ製折り紙



スタッフベスト

⑤ 全国植樹祭だよりの作成

みどりの月間に合わせ第2号（4月）、第3号（10月）を発行



⑥ 各種イベントでの広報活動

おかやま木材フェスティバル、みどりの大会等の各種イベントに出展し、参加者に対し、啓発資材を配布



10/15-16 おかやま木材フェスティバル
(岡山市)



10/20 みどりの大会
(和気町)



11/26 トライフーブ岡山 県民応援デー
(津山市)

(5) 協賛活動

ホームページや全国植樹祭だよりで企業等協賛について周知

募集期間 令和4年7月20日（水）から

協賛状況

- ・資金協賛 10件 11,730,000円
- ・物品協賛 1件 150,000円
- ・その他協賛 1件 4,000,000円

＜協賛いただいた企業等＞

岡山県森林組合連合会、一般社団法人岡山県木材組合連合会、天皇陛下御即位岡山県奉祝委員会、さんもく工業株式会社、株式会社オービス、日本たばこ産業株式会社岡山支社、株式会社大三商行、新見地区木材組合、真庭地区木材組合、津山地区木材組合、岡山県山林種苗協同組合、院庄林業株式会社

2 令和4年度収支決算見込み

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 負 担 金	18,643,000	18,643,000	0	岡山県負担金
2 助 成 金	0	2,000,000	2,000,000	国土緑化推進機構 助成金
3 諸 収 入	0	62	62	預金利息
合 計	18,643,000	20,643,062	2,000,062	

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	支出済額	増 減	摘 要
1 総 務 費	1,295,423	1,295,423	0	実行委員会・専門委 員会開催費 等
2 開催事業費	15,478,919	15,978,919	△500,000	基本計画作成、苗木 の育成体験実施、地 域植樹実施 等
3 広報啓発費	1,868,658	1,868,658	0	大会ポスター原画選 定、広報啓発資材の 作成、植樹祭だより 発行 等
合 計	18,643,000	19,143,000	△500,000	

収入の部 20,643,062 円
 支出の部 19,143,000 円
 差引残額 1,500,062 円

※差引残額 1,500,062 円は岡山県に戻入する。

(3) 協賛金収入の部

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 協 賛 金	0	11,730,000	11,730,000	資金協賛
合 計	0	11,730,000	11,730,000	

(4) 協賛金支出の部

該当なし

協賛金収入の部	11,730,000	円
協賛金支出の部	0	円
差引残額	11,730,000	円

※差引残額 11,730,000 円は積立金として令和 5 年度に繰り越すこととする。

【第 1 号議案】

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について

1 別表第 1 の改正（第 4 条関係）【実行委員会】

（内容）

会則の別表第 1 の改正

○ 委員（宿泊・輸送）

（改正前）西日本旅客鉄道株式会社岡山支社

（改正後）西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部岡山支社

（理由）

令和 4 年 10 月 1 日付けで、組織再編があったため。

2 施行日

令和 5 年 1 月 18 日

3 新旧対照表

別紙のとおり

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正 新旧対照表

改正前				改正後			
第 1 条～第 18 条 (略)				第 1 条～第 18 条 (略)			
				附 則 この会則は、令和 5 年 1 月 18 日から施行する。			
別表第 1 (第 4 条)【実行委員会】				別表第 1 (第 4 条)【実行委員会】			
職 名	区 分	所 属	役 職	職 名	区 分	所 属	役 職
(略)				(略)			
委 員	(略)			委 員	(略)		
	宿泊・ 輸送	<u>西日本旅客鉄道 株式会社岡山支 社</u>	理事岡 山支社 長		宿泊・ 輸送	<u>西日本旅客鉄道 株式会社中国統 括本部岡山支社</u>	理事岡 山支社 長
(略)				(略)			



第74回

晴れの国 光で育つ 緑の心

全国植樹祭 岡山 2024

基本計画 (概要版)



目次

第1章	開催概要	1 P
第2章	式典行事計画	2 P
第3章	植樹行事計画	3 P
第4章	式典会場等整備計画	4 P
第5章	運営計画	5 P
第6章	宿泊・輸送等計画	6 P
第7章	記念事業等計画	7 P
第8章	広報・協賛計画	8 P

第1章 開催概要

項目	内容
開催理念	・「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保 ・県民の緑化意識の醸成、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちにつないでいく ・本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信
基本方針	・未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会 ・岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信
大会テーマ	「晴れの国 光で育つ 緑の心」
シンボルマーク ・ 大会ポスター原画	 シンボルマーク  大会ポスター原画
開催会場	式典会場：ジップアリーナ岡山（岡山市北区）   (イメージ図) サテライト会場： GREENable HIRUZEN（真庭市）  P R会場： イオンモール倉敷（倉敷市） 
開催規模	約2,000人（県外招待者950人、県内招待者900人）
開催時期	令和6（2024）年春

第2章 式典行事計画

■式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
50分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	森林の軌跡 ・招待者を歓迎する気持ちを表現 ・おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
60分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長（衆議院議長）、岡山県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表 彰	緑化功労者などへの表彰
		苗木の贈呈	贈呈：児童・生徒 受贈：農林水産大臣、環境大臣
		天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		メインアトラクション	森林への思い ・森林への思いや都市とのつながり、決意を表明
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	岡山県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
30分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	豊かな森林を次世代へ ・岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

第3章 植樹行事計画

- 天皇陛下お手植え樹種
県を代表する有用な樹木3種を選定
- 皇后陛下お手植え樹種
県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

天皇陛下お手植え樹種			皇后陛下お手植え樹種		
					
アカマツ	ヒノキ	スギ	クロガネモチ	アテツマンサク	キクザクラ

- 天皇陛下お手播き樹種
将来にわたり林業を支える樹木2種を選定
- 皇后陛下お手播き樹種
四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

天皇陛下お手播き樹種		皇后陛下お手播き樹種	
			
ヒノキ	スギ	ヤマザクラ	イロハモミジ

■ 代表者記念植樹計画等

項目	内容
代表者記念植樹計画	・ 招待者代表は、式典会場内で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ実施 ・ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・ 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用
各県代表者等植樹計画	・ 各県代表者等は、式典会場周辺で、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を実施 ・ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種 ・ 各県代表者等植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用
各県代表者への苗木の贈呈	・ 県外招待者には、岡山後楽園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈 ・ 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげる
地域植樹計画	・ 令和5年度を中心に県民参加による植樹を実施（県内6カ所） ・ 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹 ・ 児童など県民が育てた苗木も使用 ・ 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様が参加

第4章 式典会場等整備計画

- ・既存施設の活用など経費削減を図ることを基本とします。
- ・県産木材を積極的に使用します。
- ・使用した県産木材は、再使用及び再生利用等を行います。

■施設配置計画

<敷地図>

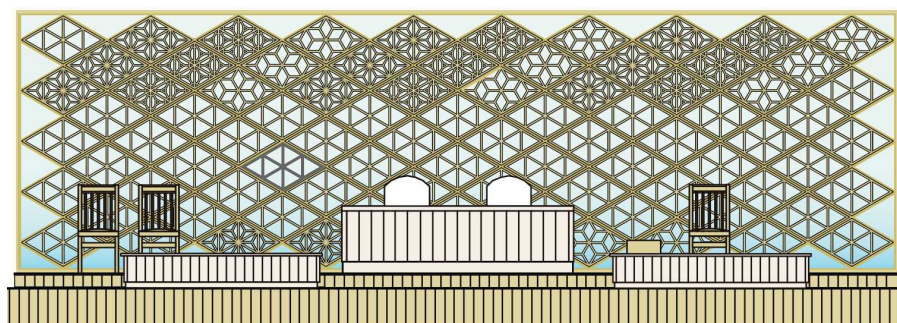
項目	内容
式典会場	会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。
おもてなし広場	式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、招待者に岡山の魅力をもPRします。



■主要施設計画

県産木材を使用し伝統木工技法である組子で表現した岡山らしいデザイン

<御座所>



<CLTゲート>



<会場内工作物>



木製ベンチ



木製プランターカバー

第71回全国植樹祭（島根大会）

■飾花計画

項目	内容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置
サテライト会場 PR会場	プランター等を設置

第5章 運営計画

■受付計画

- ・招待者（特別中央招待者等を除く）については、県総合グラウンド内受付会場にて受付を行います。
- ・必要に応じて受付業務の補助等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

区分	受付種類	受付場所	内容
当日①	会場受付	県総合グラウンド	①本人確認 ②大会用品の配付
当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・ＩＤカードの確認、 持込禁止品の預かり ②金属探知機

■レセプション計画

【主 催】岡山県

【開催日時】全国植樹祭開催の前日

【出席者】・中央特別招待者

（国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県知事 等）

・県外特別招待者

（県選出国會議員、緑化功労者、代表表彰者 等）

・県内特別招待者

（県議會議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等）

※レセプション前に作品御覧を実施

■医療・衛生計画

項目	内容
医療救護所の設置	・県総合グラウンド内に設置
衛生対策	・保健所等の協力を得て、衛生対策体制を整備 ・国のガイドライン等を踏まえて、本大会における必要な計画・方針を作成 等

■消防・防災・警備計画

項目	内容
消防・防災	・会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、消火器を設置 等
警備	・警察等関係機関と協力して警備を実施 ・金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を実施 等

第5章 運営計画

■ 招待者行動計画

式典当日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外招待者	県内招待者	県外招待者	県内招待者
8:00		宿泊施設	宿泊施設	自宅	宿泊施設	自宅
	おもてなし広場		入場チェック・着席			
			各県代表者等植樹	各県代表者等植樹	各県代表者等植樹	
		入場・着席	完全着席			
9:30						
9:55						
10:00						
11:00	プロローグ	プロローグ				
	式典	代表者記念植樹	式典			
12:00						
13:00	エピローグ	エピローグ				
	おもてなし広場		自由行動 ※おもてなし広場にてお楽しみいただけます。			
14:00		駅等	帰宅・視察 コース参加	帰宅	帰宅・視察 コース参加	帰宅

第6章 宿泊・輸送等計画

項目	内容
宿泊計画	・式典会場までのアクセス等を考慮した適切な宿泊エリアを選定 ・食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫 等
輸送計画	・公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を基本とする ・中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用 ・実施本部員・協力員等は当日会場参集 等

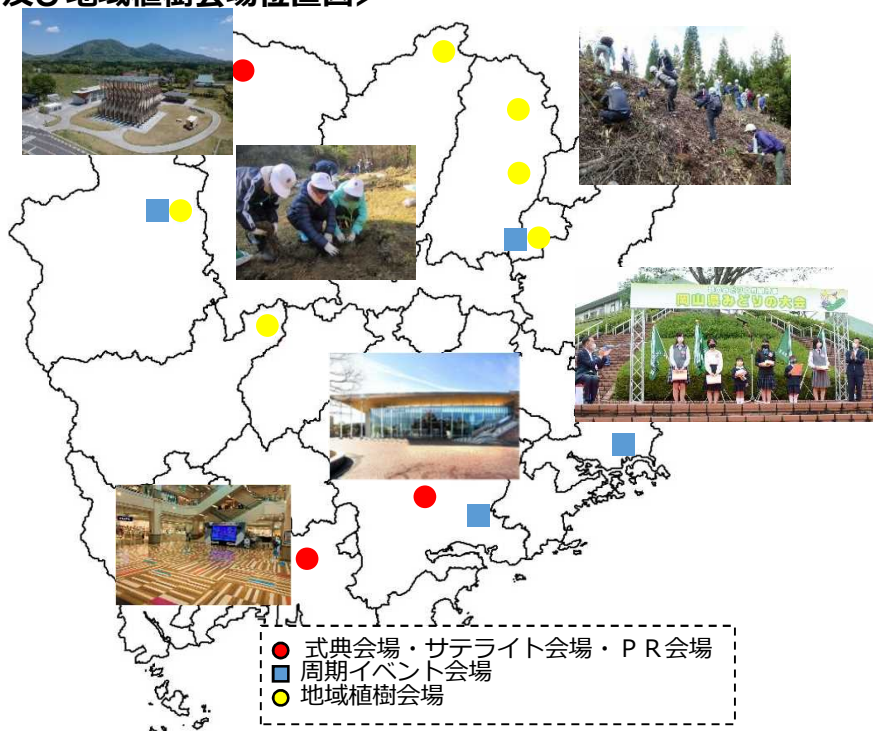
第7章 記念事業等計画

第74回全国植樹祭の開催理念を広め、機運の醸成等を図るとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様に広く啓発するため、記念事業等を実施します。

■ 記念事業

項目	内容
周期イベント	令和5(2023)年5月20日に1年前イベントを開催(岡山市：西大寺緑花公園・百花プラザ) 200日前、100日前、アフターイベントを開催
緑化意識・機運醸成イベント	令和5年度を中心に開催
地域植樹	令和4年度から県内6か所(津山市阿波、津山市市場、高梁市有漢町有漢、新見市大佐小阪部 鏡野町上齋原、勝央町岡)で開催
苗木のホームステイ・スクールステイ	記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、多くの県民の皆様に知っていた
全市町村参画による記念植樹	令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施
「木製地球儀」巡回展示	大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示
記念誌の発行	式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布
＜併催行事＞ 全国林業後継者大会	【時期】 令和6年(2024) 年春 (第74回全国植樹祭の前日) 【場所】 津山市内

＜周期イベント及び地域植樹会場位置図＞



第8章 広報・協賛計画

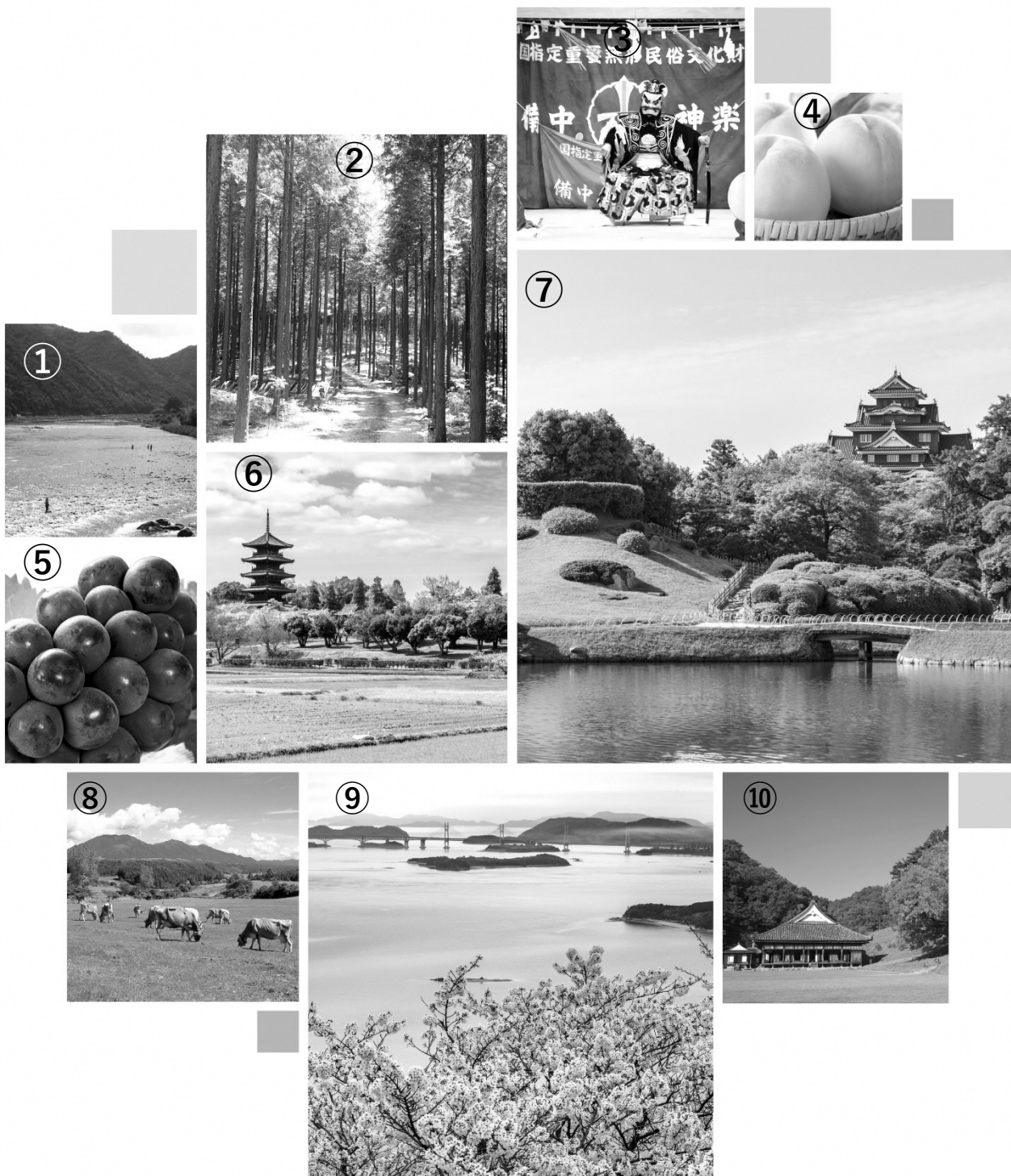
- ・広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- ・広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ・ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

■広報計画

項目	内容
インターネットの活用	・公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信 ・各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用
公共広報媒体の活用	・県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施
マスメディアの活用	・第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に実施
企業・団体との連携	・ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭を周知
植樹祭情報紙の発行	・「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信
PRグッズの作成・配付	・ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運を醸成

■協賛計画

項目	内容
資金協賛	開催に要する資金（協賛金）の提供
物品協賛	開催に要する物品（協賛物品）の提供
その他	開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力



【表紙写真】

- | | |
|---------------------|------------------|
| ①高梁川 | ⑥備中国分寺（総社市） |
| ②ヒノキ人工林（新見市） | ⑦岡山城と後楽園（岡山市） |
| ③備中神楽（国指定重要無形民俗文化財） | ⑧蒜山高原ジャージー牛（真庭市） |
| ④清水白桃（栽培面積全国一位：R元） | ⑨瀬戸内海と瀬戸大橋 |
| ⑤ピオーネ（栽培面積全国一位：R元） | ⑩特別史跡 旧閑谷学校（備前市） |



第74回全国植樹祭 基本計画 令和5年1月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7875
ホームページ：https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024
または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。



【第2号議案】

(案)

資料6-2



第74回

晴れの国 光で育つ 緑の心

全国植樹祭 岡山 2024

基本計画
(詳細版)



目次

第1章 開催概要

- 1 開催意義
- 2 岡山県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催時期

第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出計画
- 3 式典運営計画
- 4 式典進行プログラム

第3章 植樹行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え・お手播き計画
- 3 代表者記念植樹計画
- 4 各県代表者等植樹計画
- 5 県外招待者へ苗木の贈呈
- 6 地域植樹計画

第4章 式典会場等整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置計画
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・通信設備等計画
- 6 飾花計画

目次

第5章 運営計画

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 特別接伴計画
- 6 レセプション計画
- 7 会場内動線計画
- 8 会場おもてなし計画
- 9 医療・衛生計画
- 10 消防・防災・警備計画
- 11 実施本部計画
- 12 研修・リハーサル計画
- 13 非常時対応計画

第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・道路交通対策

第7章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

第8章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている二酸化炭素の吸収源である森林の役割や、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

昭和42(1967)年 4月9日、金山山頂（岡山市）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小（晴天時は13,000人を予定）して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域（旧真庭郡川上村）において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇皇后両陛下（岡山市）



お手植え苗木移植式
（4月17日 岡山市）



両陛下お手植えの苗木の移植
（4月17日 池田厚子さん）



お手播きされる天皇皇后両陛下（蒜山地域）
（天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ）

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかかわりへつなげていく大会

- 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。
- 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

- 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
- 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

おおすみ はんな

- 作 者：大隅 絆成さん（岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

みやかわ ちはる

- 作 者：宮川 千明さん（岡山市北区）
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも足して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

岡山県内の小中高校生から応募があった615点の作品の中から選定しました。

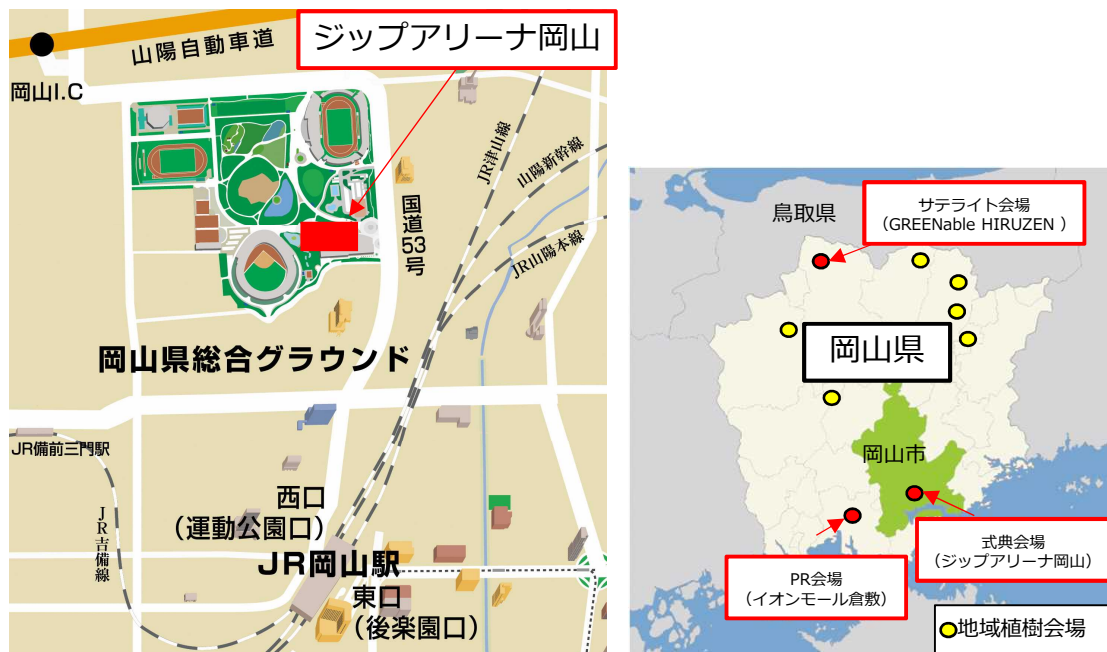
にしやまここな

- 作 者：西山 心和さん（浅口市・浅口市立金光小学校5年生 ※選定時）
- 制作意図：晴れの国と太陽とやさしさでハートの木を大きく育て、みんなが幸せになれるといいなという思いをこめた。



第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するおもてなし広場を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

■ ジップアリーナ岡山（岡山市北区）

J R岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気の体育館です。
屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



ジップアリーナ岡山



式典会場（イメージ）

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場	GREENable HIRUZEN (グリーンナブルヒルゼン)	真庭市
PR会場	イオンモール倉敷	倉敷市

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 10月8日	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者約2,000人の規模で開催します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	950人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者 等
県内招待者	900人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民等

11 開催時期

令和6(2024)年春

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容の大会とします。
- 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典演出計画

式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○招待者を歓迎する気持ちを表現 ○おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への想い	○森林への想いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

3 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒やボランティア等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典補助員、式典音楽隊の出演者等については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
50分程度	プロローグ	プロローグアトラクション	森林の軌跡
60分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長（衆議院議長）、岡山県知事
		天皇陛下のお言葉	
		表 彰	緑化功労者などへの表彰
		苗木の贈呈	贈呈：児童・生徒 受贈：農林水産大臣、環境大臣
		天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
		メインアトラクション	森林への想い
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	岡山県議会議長
		天皇皇后両陛下 御退席	
30分程度	エピローグ	エピローグアトラクション	豊かな森林を次世代へ

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特性に適した樹種で、県民の皆様に親しみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 式典会場周辺に、各県代表者等による植樹地を設けます。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげていくため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。

2 お手植え・お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手植え、お手播きを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)	 ・県の木として広く県民に親しまれています。 ・建築材としての利用のほか、備前焼の燃料として利用されています。 ・第18回大会（昭和42年）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)	 ・県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・建築材やC L Tの材料として利用されています。

■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
クロガネモチ	 ・地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク	 ・阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有種です。 ・2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ	 ・昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		・将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。

■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		・県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。
イロハモミジ		・県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。

3 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

第3章 植樹行事計画

4 各県代表者等植樹計画

- 各県代表者等は、式典会場周辺で、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 各県代表者等植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

5 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、岡山後樂園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につなげてまいります。

6 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 10月8日	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ヶ山牧場跡地

第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

- 既存施設の活用など経費削減を図ることを基本とします。
- 県産木材を積極的に使用します。
- 使用した県産木材は、再使用及び再生利用等を行います。

2 施設配置計画

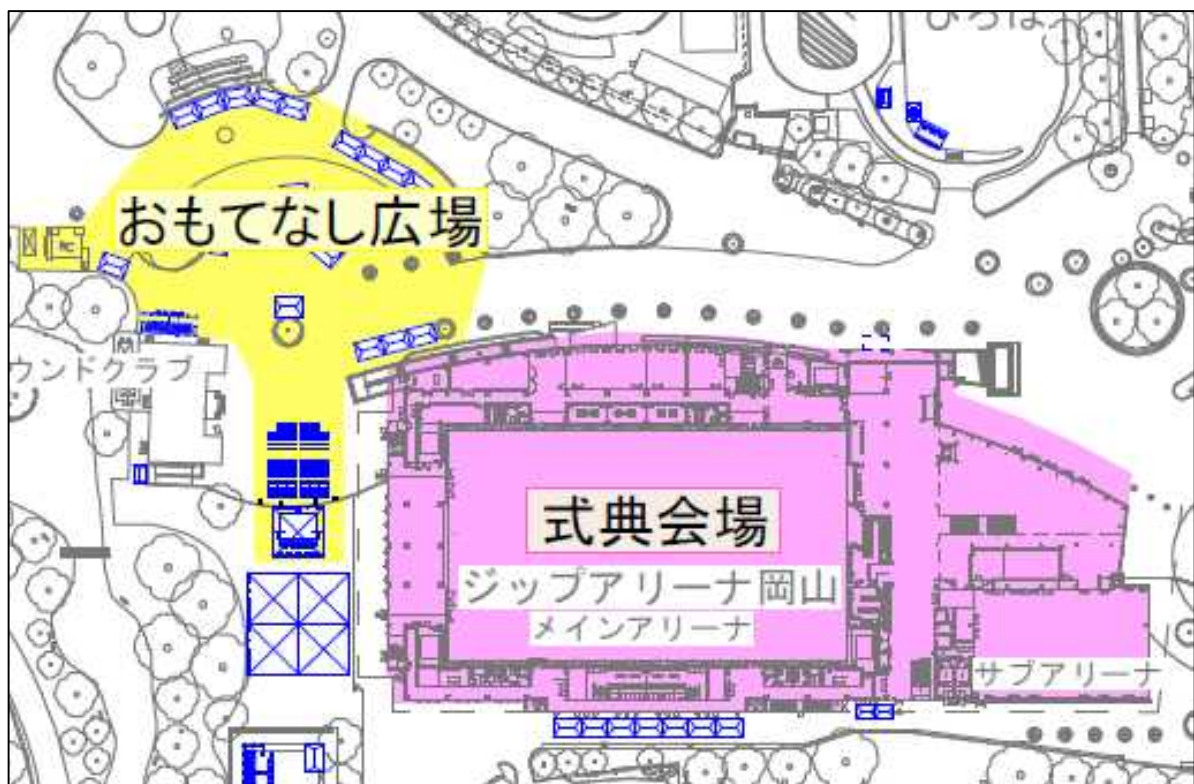
(1) 式典会場

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) おもてなし広場

式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、招待者に岡山の魅力をPRします。

敷地図

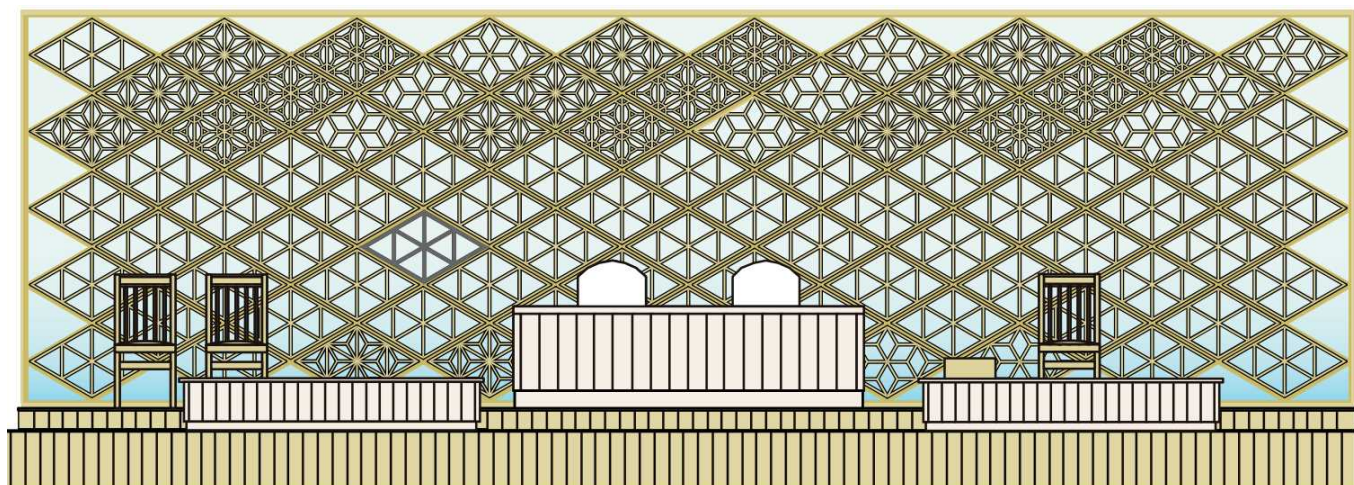


第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所

- みどり豊かな中国山地に源を発し、県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法である組子で表現しています。
- それぞれの河川を彩る四季折々の花々のほか、古来より着物等の布地として利用されてきた麻の葉や川面にきらめく陽光を組子で表現することにより、「晴れの国」や「光で育つ緑」を感じさせるデザインとします。



(2) CLTゲート

- ヒノキの生産量が全国でもトップクラスの岡山県産ヒノキCLTを、ジョイント金具を使用せずに結合し、強固な六角アーチを形成したデザインとします。
- 日本の伝統木工技法である組子細工の技術をCLT建築へ応用しています。



CLTゲート

第4章 式典会場等整備計画

(3) 会場内工作物

- 会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。
- 原則として県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものにします。



木製ベンチ



木製プランターカバー

第71回全国植樹祭（島根大会）

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・通信設備等計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

(3) 仮設トイレ計画

おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

6 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう設置します。

設置区域	内 容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
サテライト会場 P R会場	プランター等を設置します。



第71回全国植樹祭（島根大会）

第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2 招待計画

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
②県外招待者	特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	一般招待者	700人	各都道府県森林・林業関係者 等
	小計	920人	
③県内招待者	特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	一般招待者	700人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
	小計	900人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典前日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外	県内	県外	県内
午前						
午後						
17:30						
19:00						

			駅・空港・自宅等			
			↓	↓	↓	↓
			レセプション受付			
			↓	↓	↓	↓
	作品御覧 レセプション		レセプション		宿泊施設	
			↓	↓	夕食 等	
			宿泊施設	帰宅		

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典当日の行程

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外招待者	県内招待者	県外招待者	県内招待者
8:00 9:30 9:55 10:00	おもてなし広場	宿泊施設	宿泊施設	自宅	宿泊施設	自宅
		入場チェック・着席				
		各県代表者等植樹	各県代表者等植樹	各県代表者等植樹		
		完全着席				
11:00 12:00	式典行事 プロローグ 式典	代表者記念植樹	式典			
		エピローグ				
13:00 14:00	おもてなし広場	駅等	自由行動 ※おもてなし広場にてお楽しみいただけます。			
		帰宅・視察コース参加	帰宅	帰宅・視察コース参加	帰宅	

※本計画の式典行事が午前開始となることを想定したものです。式典行事の開始時間や行動計画は変更となる場合があります。

第5章 運営計画

4 受付計画

(1) 受付内容

- 招待者（特別中央招待者等を除く）については、総合グラウンド内受付会場にて受付を行います。
- 必要に応じて受付業務の補助等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

区分	受付種類	受付場所	受付内容
当日①	会場受付	総合グラウンド	①本人確認 ②大会用品の配付
当日②	入場 チェック	式典会場	①手荷物・I Dカードの確認、 持込禁止品の預かり ②金属探知機

(2) 招待者に配付する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、岡山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信するために、記念品等を配付します。
- 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、環境に配慮したものとする
とともに、遠方からの 招待者の持ち帰りやすさに配慮します。
- 式典の円滑な運営のため、I Dカード等を配付します。

第5章 運営計画

5 特別接伴計画

特別接伴が必要と認められる招待者には実施本部員が次の対応を行います。

(1) 中央特別招待者

- 移動には原則として、借り上げ車等の乗用車を使用します。
- 前日は、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、見送りまで常時サポートします。
- 中央特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

(2) 特別招待者

- 移動には原則として、バスを使用します。
- レセプションに参加する特別招待者については、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、見送りまで常時サポートします。
- 特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

6 レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第74回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

【主 催】 岡山県

【開催日時】 全国植樹祭開催の前日

【出席者】 ・中央特別招待者

(国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県知事 等)

・県外特別招待者

(県選出国會議員、緑化功労者、代表表彰者 等)

・県内特別招待者

(県議會議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等)

第5章 運営計画

7 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品・技術等を招待者に広くPRするとともに、観光案内や特産品販売を効率的、効果的に実施するため、各種展示コーナー、物産販売コーナーなどを関係団体と協力しながら設置して、本県の魅力を広く発信する空間とします。
- 会場警備上、傘の持込みができないため、事前にレインコートを配付します。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	展示コーナー	岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品や技術等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第5章 運営計画

9 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

(2) 衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期するため、宿泊施設や会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。
- 国の「感染症対策の基本的対処方針」や「イベント等における業種別ガイドライン」等を踏まえて、本大会における必要な計画・方針を作成し、三密（密閉・密集・密接）の抑止や消毒等の感染リスク拡大防止などの基本的な対策を実施するとともに、今後の様々な情勢変化を把握し、迅速かつ適切な対策を講じるなど、参加者の安全を最優先に、感染症対策を徹底します。

※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

10 消防・防災・警備計画

- 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 実施本部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

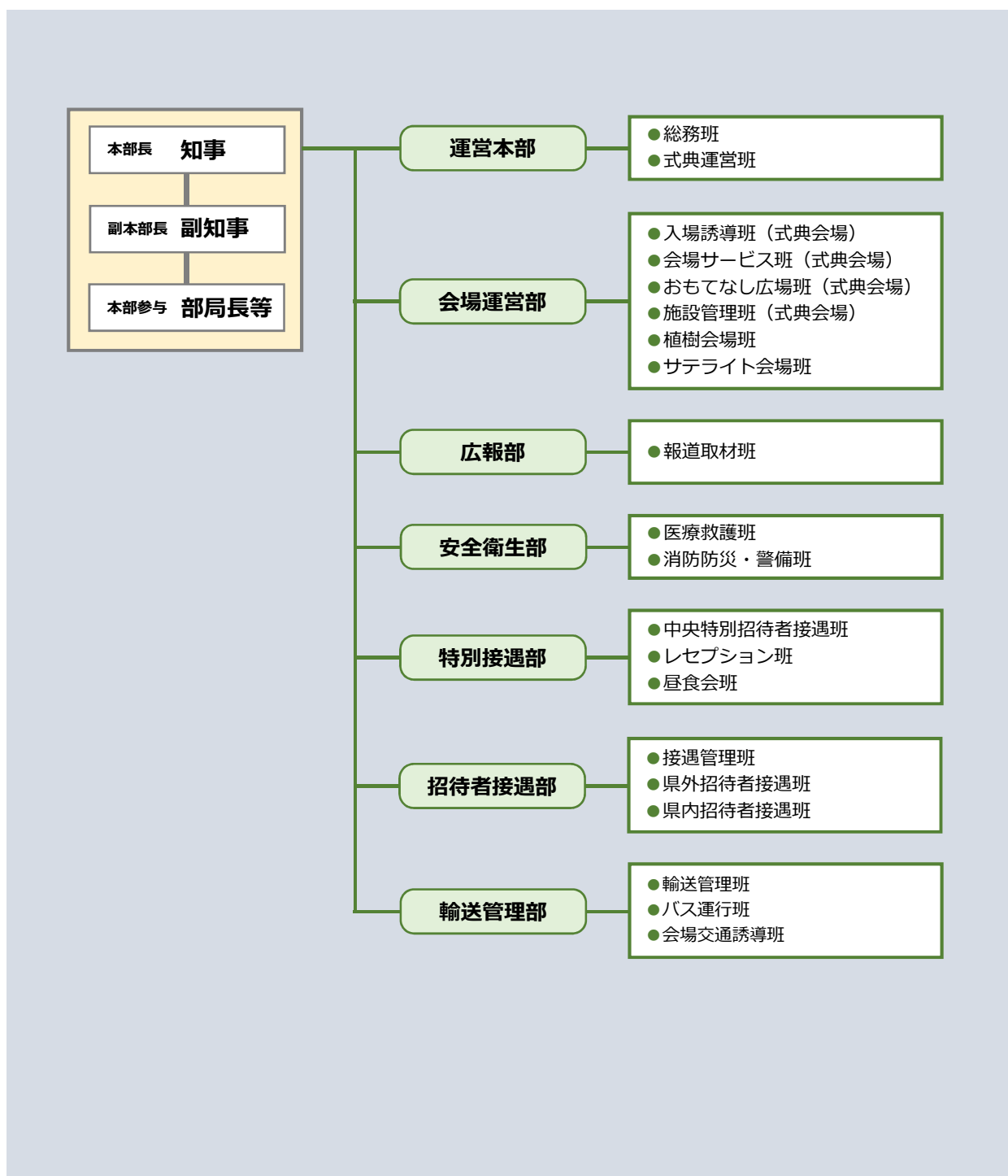
※詳細には、運営計画を検討する中でマニュアルを作成

第5章 運営計画

11 実施本部計画

- (1) 円滑な運営を図るための実行組織として、「第74回全国植樹祭岡山県実施本部」を設置します。
- (2) 県職員などの協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

○実施本部（案）



第5章 運営計画

12 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、実施本部員等の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

(1) 実施本部員等の研修計画

実施本部員等の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

(2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
出演者説明会	3カ月前	未定	出演者代表	式典概要・参加内容説明
合同説明会	開催6週～4週間前	未定	実施本部員 出演者代表	式典全体の説明
式典リハーサル	開催4週～2週間前	未定	出演者（介添者） 実施本部員	式典部分のリハーサル
総合リハーサル	1週間前	式典会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接 遇研修、非常時訓練他
前日リハーサル	開催前日	式典会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接 遇研修、非常時訓練他

13 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、地震、突発事案を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方

- 式典前日の宿泊を希望する招待者については、旅行会社を通じて式典会場の近隣地域等で宿泊施設を手配します。
- 式典当日の輸送については、式典会場の立地を踏まえ、公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を検討することとします。また、宿泊地の交通状況等に応じて、一部招待者については貸切バスにより式典会場へ移動することとします。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 参加者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制等について、関係者で綿密な検討を行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 会場周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全な警備体制を構築します。
- 関係市町村や県民の皆様と協力しながら、会場へのアクセス道路沿線の美化に努め、参加者を歓迎します。
- 岡山県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- 宿泊・輸送にあたり、人と人との距離を保つなど、感染症対策を実施します。

2 宿泊計画

- 式典会場までの道路状況やアクセス等を考慮した適切な宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- 宿泊エリアの特性に応じた宿泊プランを設定します。
- 食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫します。

第6章 宿泊・輸送等計画

3 輸送計画

- 公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を基本とした輸送計画を作成します。
- 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、関係機関と連携を図ります。
- 式典当日の道路混雑等のリスクを想定した最短ルートを設定します。
- 中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用します。
- 実施本部員等は当日会場参集とします。

4 運行管理体制・道路交通対策

- 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占有許可等の必要な措置を講じます。
- 参加者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様幅広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

(1) 周期イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成等を図るため、周期イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。

周期イベントでは、記念植樹や森林・林業・木材産業のPR、木工体験などを実施します。

区分	時期	場所	
1年前	令和5(2023)年 5月20日	岡山市東区 西大寺南	西大寺緑花公園 ・百花プラザ
200日前	令和5(2023)年 秋頃	勝央町岡	おかやまファーマーズ ・マーケット ノースヴィレッジ
100日前	令和6(2024)年 冬頃	備前市日生町 日生	「五味の市」周辺広場
アフター	令和6(2024)年 秋頃	新見市大佐小阪部	大佐山大日高原



第73回全国植樹祭 岩手大会
1年前記念イベント



木工体験

(2) 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に開催します。

第7章 記念事業等計画

(3) 地域植樹(再掲)

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

区分	時期	場所	
プレ地域植樹	令和4(2022)年 10月8日	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地
地域植樹	令和5(2023)年 秋頃	津山市市場	こえがたわ ウッドパーク声ヶ峠
		高梁市有漢町有漢	高梁市市有林
		新見市大佐小阪部	大佐山大日高原
		鏡野町上齋原	恩原高原
		勝央町岡	おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
アフター 地域植樹	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波	だいがせん 大ケ山牧場跡地

(4) 苗木のホームステイ・スクールステイ

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、児童・生徒をはじめとする多くの県民の皆様に知っていただくとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。

(5) 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施します。

【場 所】 各市町村の公共施設等

【内 容】 記念植樹

(6) 「木製地球儀」巡回展示

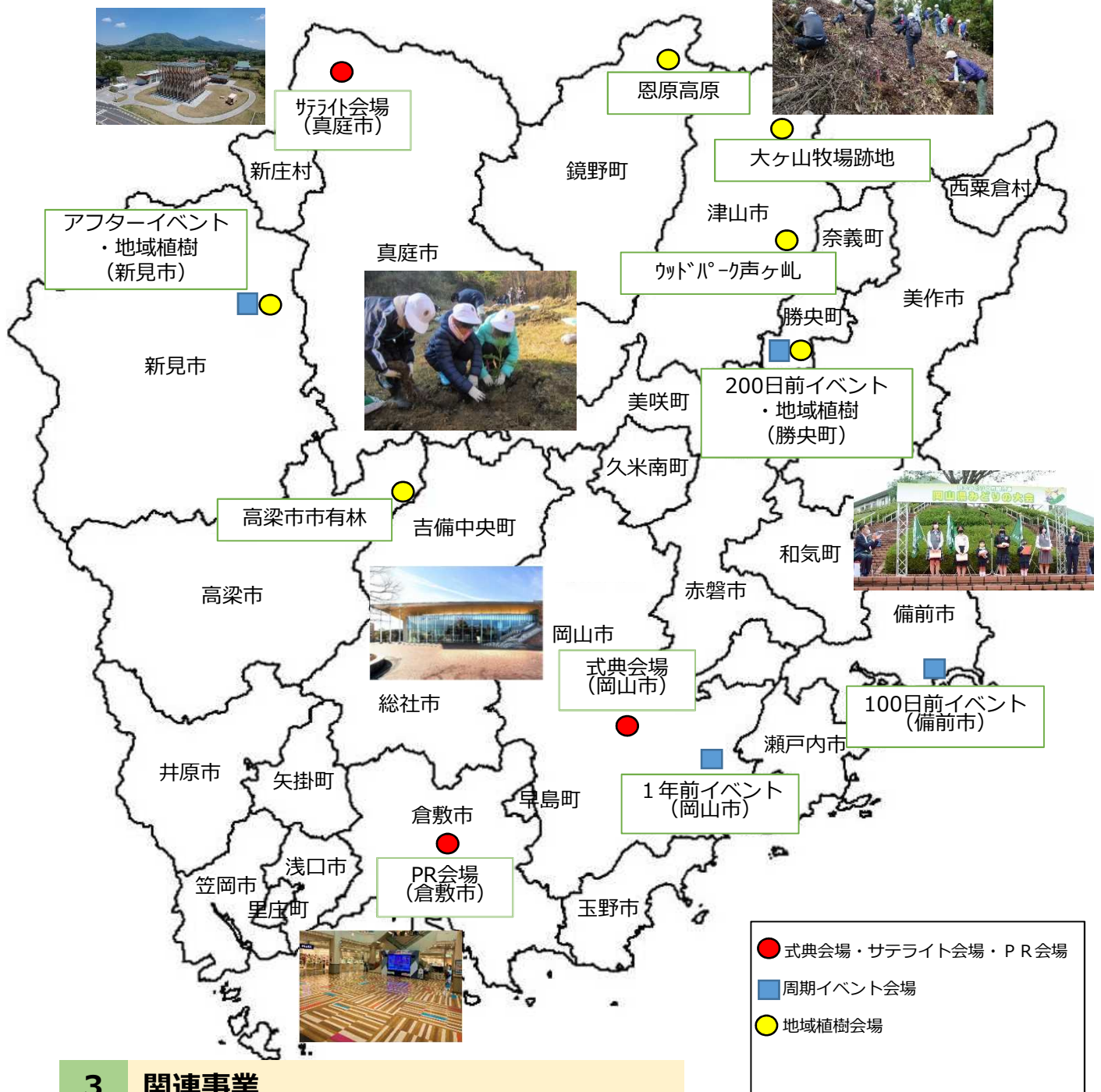
第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

(7) 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布します。

第7章 記念事業等計画

<周期イベント及び地域植樹会場位置図>



3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。
 全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信します。

【時期】 令和6(2024)年春(第74回全国植樹祭の前日)

【場所】 津山市内

【内容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

第8章 広報・協賛計画

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めています。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載、おもてなし広場に出展できるなどの特典が得られます。

(1) 資金協賛

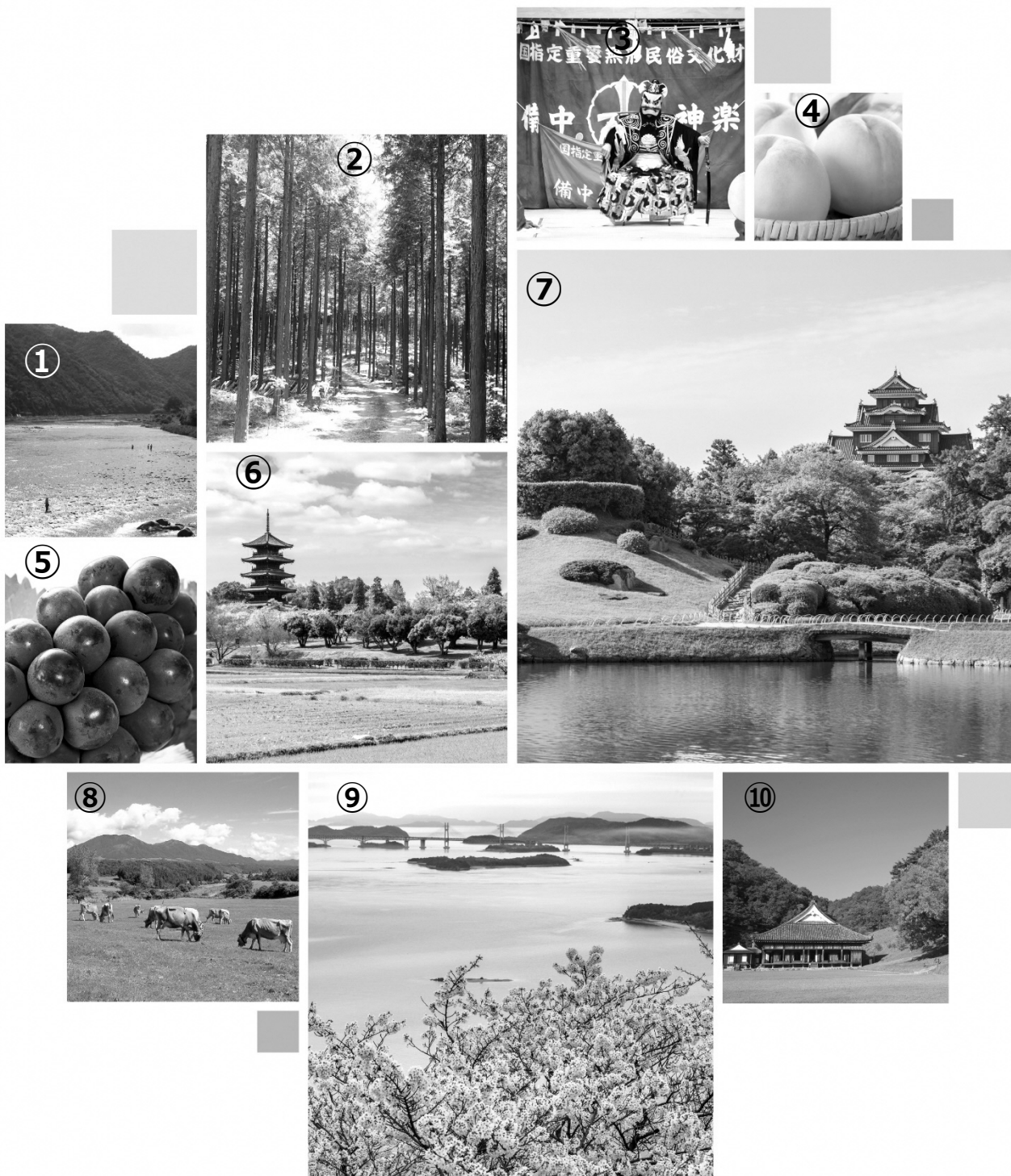
第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力



【表紙写真】

- | | |
|---------------------|------------------|
| ①高梁川 | ⑥備中国分寺（総社市） |
| ②ヒノキ人工林（新見市） | ⑦岡山城と後楽園（岡山市） |
| ③備中神楽（国指定重要無形民俗文化財） | ⑧蒜山高原ジャージー牛（真庭市） |
| ④清水白桃（栽培面積全国一位：R元） | ⑨瀬戸内海と瀬戸大橋 |
| ⑤ピオーネ（栽培面積全国一位：R元） | ⑩特別史跡 旧閑谷学校（備前市） |



第74回全国植樹祭 基本計画 令和5年1月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号
電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7875
ホームページ：https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024
または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。



第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）今後の予定

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【設立総会】 （第 1 回総会） 令和 2 年 11 月 16 日	1 実行委員会の設立について 2 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会への付託事項について
【第 2 回総会】 令和 3 年 3 月 23 日	1 令和 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 3 回総会】 令和 3 年 7 月 30 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 2 年度収支決算（案）について 3 <u>基本計画の策定</u> について
【第 4 回総会】 令和 4 年 3 月 25 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 <u>基本計画の策定状況</u> について
【第 5 回総会】 令和 4 年 7 月 20 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 3 年度収支決算（案）について 3 <u>基本計画（素案）</u> について
【第 6 回総会】 令和 5 年 1 月 18 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>基本計画（案）</u> について → 令和 5 年 1 月 31 日の国土緑化推進機構特別委員会で基本計画の承認・決定予定
【第 7 回総会】 令和 5 年 3 月下旬頃	1 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ※書面開催を予定
【第 8 回総会】 令和 5 年 7 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度収支決算（案）について 3 <u>実施計画（素案）</u> について
【第 9 回総会】 令和 6 年 1 ～ 3 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 <u>実施計画（案）</u> について → 令和 6 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で実施計画の承認・決定 3 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
令和 6 年（春） 第 74 回全国植樹祭岡山県開催	
【第 10 回総会】 令和 7 年 2 月頃	1 令和 5 年度、令和 6 年度事業報告及び収支決算について 2 実行委員会の解散について

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会第 6 回総会 議事概要

■日 時：令和 5 年 1 月 18 日（水）13：30～14：05

■場 所：岡山プラザホテル 5 階「延養の間」（岡山市中区浜）

■出席者：別紙出席者名簿のとおり

■議事内容

1 挨拶

実行委員会 会長 伊原木知事 開会挨拶

2 報告

（１）第 74 回全国植樹祭大会ポスター原画の決定について【資料 1】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（２）第 74 回全国植樹祭カウントダウンボードのデザインについて【資料 2】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（３）第 74 回全国植樹祭記念事業（１年前イベント）について【資料 3】

事務局から説明

◇質疑等：なし

（４）令和 4 年度 of 取組状況及び収支決算見込みについて【資料 4】

事務局から説明

◇質疑等：なし

3 議事

【第 1 号議案】第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について【資料 5】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

【第 2 号議案】基本計画（案）について【資料 6－1】 【資料 6－2】

事務局から説明

◇質疑等：なし

→ 出席者の拍手をもって、原案どおり承認された。

4 その他

今後の予定について【資料7】

事務局から説明

◇質疑等：なし

5 全体意見

委員及び参加者から質疑なし

※総会終了後、大会ポスター原画表彰式及び記念撮影を実施